

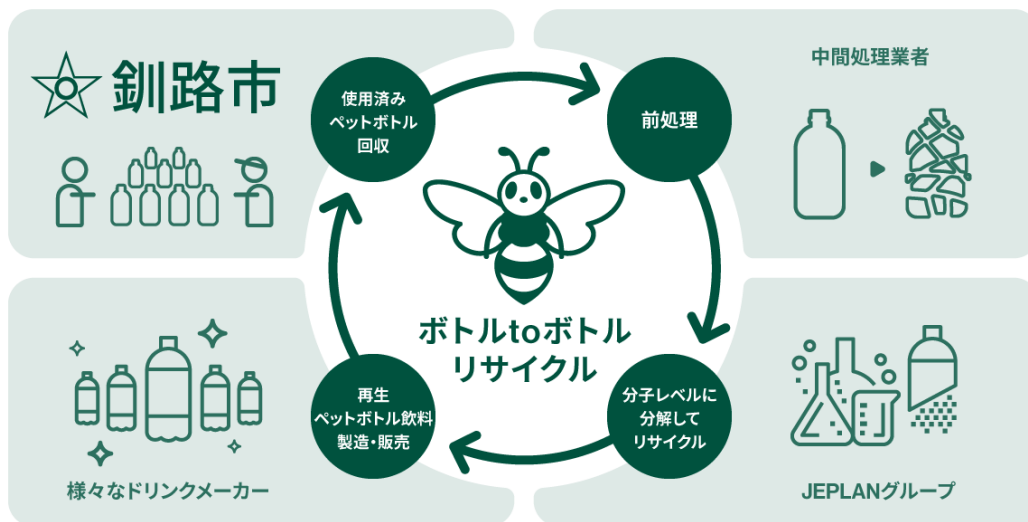
株式会社 JEPLAN

2025年2月3日

JEPLAN、北海道釧路市とともにボトル to ボトル リサイクルの推進に向けてペットボトル回収袋のデザインをリニューアル

－ハチマークをデザインした新たな回収袋のお披露目・贈呈式を実施－

株式会社 JEPLAN（代表取締役 執行役員社長：高尾 正樹、以下「JEPLAN」）と北海道釧路市（市長：鶴間 秀典）は、ボトル to ボトル リサイクルの推進を目的に、一般家庭から排出されるペットボトルの回収に使用される回収袋を共同で製作し、デザインをリニューアルしました。これに伴い、1月31日（金）に贈呈式を行い、回収袋のデザイン原版とともに、JEPLAN が推進するペットボトルを再びペットボトルに循環する取組み「おかえりペットボトルアクション」のトロフィーを釧路市に贈呈し、リニューアルした回収袋もお披露目しました。



この度、JEPLAN と釧路市が共同でリニューアルを発表した回収袋は、ボトル to ボトル リサイクルを身近に感じていただくことを目的に、資源循環のシンボルである JEPLAN のハチマークをデザインしました。釧路市では、一般家庭から排出されるペットボトルを資源物回収拠点に設置した専用の回収袋で回収しています。この回収袋のリニューアルを通じて、市民の皆さまにペットボトルを「捨てる」のではなく、資源循環のために「回収する」という意識を持っていただくことを目指しています。本回収袋は、市内の資源物回収拠点約 3,500 ヶ所に、2 月頃から順次設置を進めてまいります。なお、回収したペットボトルは、JEPLAN グループの独自技術を用いて分子レベルまで分解し色素や金属などの不純物を取り除くことで、石油由来と同等品質の再生 PET 樹脂にリサイクルし、再びペットボトルなどの原料に使用されます。

JEPLAN と釧路市は 2022 年 3 月に「地域循環共生圏推進」に関する包括連携協定を締結しました。本協定により、ボトル to ボトル リサイクルの協働をはじめ、資源循環の重要性を伝える市民参加型イベン

本件に関する取材のお問い合わせ先

株式会社 JEPLAN 広報担当

電話：044-223-7898 E-mail：jeplan_info@jeplan.co.jp

トや、小学校でペットボトルのリサイクルに関する授業など、様々な活動を行なってきました。このたびの回収袋リニューアルを契機に、さらなる資源循環の推進に取り組んでまいります。

今後も JEPLAN グループでは「あらゆるものを循環させる」というミッションの実現に向けて、引き続き国内外のパートナーとの連携を進め、グループ一丸となりサーキュラーエコノミーを牽引していくことに努めてまいります。

■贈呈式の様子



写真左から) リニューアルを発表したペットボトルの回収袋をお披露目する 鉚路市 市長：鶴間 秀典氏、株式会社 JEPLAN 取締役 執行役員会長：岩元 美智彦

■JEPLAN グループが推進するボトル to ボトルのリサイクルに係る取り組み (<https://bringbottle.jeplan.co.jp/>)

JEPLAN グループは、日本全国の自治体と連携し、ボトル to ボトル リサイクルの取り組みを推進しています。役割を終えたモノがゴミではなく、価値ある資源として循環する社会を目指しています。この取り組みの一環として、ペットボトルを回収し、再びペットボトルにリサイクルする活動「おかえりペットボトルアクション」を実施しています。

日本では、年間約 64 万トン^{*1} のペットボトルが製造・販売されています。そのリサイクル率は約 85%^{*2} です。しかし、ペットボトルがペットボトルとしてリサイクルされている割合は約 34%^{*3} にとどまっています。この残りの 66%をボトル to ボトルにリサイクルすることを目指し、さらなる資源循環の推進に取り組んでいます。



*1,2,3 : PET ボトルリサイクル年次報告書 2024 (PET ボトルリサイクル推進協議会)
<https://www.petbottle-rec.gr.jp/nenji/2024/2024.pdf>

■ **北海道釧路市** (<https://www.city.kushiro.lg.jp/>)

市長：鶴間 秀典

■ **株式会社 JEPLAN** (<https://www.jeplan.co.jp>)

代表者：代表取締役 執行役員社長 高尾 正樹

設立：2007年1月

主な事業内容：PET ケミカルリサイクル技術関連事業（対象：PET ボトル・ポリエステル）など

JEPLAN グループは「あらゆるものを循環させる」をミッションに掲げ、サーキュラーエコノミーの実現を目指しています。廃PET（ペットボトル、ポリエステル繊維等）を対象に、独自のPETケミカルリサイクル技術を用いて分子レベルに分解し、不純物を除去することで、石油由来と同等品質の再生素材に生まれ変わらせています。この独自技術を用いて、「ボトル to ボトル（ペットボトル）」や「服から服をつくる（ポリエステル繊維）」などのリサイクルに取り組むことで、限りある資源の循環を実現し、CO₂の排出量削減にも寄与しています。

なお、JEPLAN グループはペトリファインテクノロジー株式会社（神奈川県川崎市・ペットボトル対象）と北九州響灘工場（福岡県北九州市・ポリエステル繊維対象）の2拠点でPETケミカルリサイクルプラントを運営しており、国内外への技術ライセンス事業も推進しています。